

# 高岡商工会議所地域経済動向調査

(令和5年度 第2四半期・令和5年7月～令和5年9月)

2023/9/29

## ポイント

- ◆ 売上高対前年同期比は全産業で前期比2.5ポイント下落し-6.8ポイント  
小売業を除く4業種で下落
- ◆ 採算性対前年同期比は全産業で前期比1.4ポイント下落し-24.1ポイント  
卸売・サービス業で下落し、建設・製造・小売業で上昇
- ◆ 材料、原材料、仕入単価の上昇が経営課題の上位にあげられる  
従業員の確保難も建設・製造・卸売・サービス業で上位にあげられる

### □ 売上高・採算性ともに全産業で下落となる

売上高対前年同期比(全産業)は、-6.8と前回調査(-4.3)から、2.5ポイント下落した(表1)。産業別で見ると、建設・製造・卸売業・サービス業で下落しており、特にサービス業(19.7ポイント下落)での減少が目立つ。また、小売業は30.3ポイント上昇した。

来期の売上高見通し(グラフ2-2)は、減少との回答が1.5ポイント増加し32.4%となった。増加・不変の合計が67.6%となり、前回調査から1.4ポイント下落し、来期見通しに消極的な経営者が増えた。

採算性(表3)は全産業で-24.1となり前回調査から1.4ポイント下落した。建設・製造・小売業で改善がみられた。

従業員水準(グラフ5 表5)は全ての産業で、不足傾向(0を下回る)となった。全産業で見ると-21.8となり、以前従業員の不足傾向は続いている。

直面する経営課題では、材料、原材料、仕入単価の上昇が全産業で上位となったほか、小売業を除く全産業で従業員の確保難が上位にあげられた。

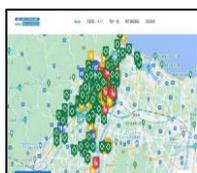
本年9月に国土交通省が発表した都道府県地価調査(基準地価)によると、全国全用途は2年連続で上昇した。また、下落が続いていた地方圏の全用途平均と住宅地は31年ぶりに前年比プラスとなった。

東京圏、大阪圏、名古屋圏の住宅地、商業地は全ての地域において上昇率が拡大した。その結果、三大都市圏の全用途平均も3年連続の上昇となり、また上昇率も拡大した。

その他の地方についても大幅に上昇率が拡大している地域がみられる。商業地では再開発事業等が進展している地域の地価上昇が継続しており、住宅地では住環境や利便性が良好なエリアを中心に需要が堅調なほか、マンション用地の需要が地価上昇につながっている。

国土交通省は今回の調査結果について、「新型コロナの影響で弱含んでいた地価は、景気が緩やかに回復する中、地域や用途により差があるものの、三大都市圏を中心に上昇が拡大するとともに、地方圏においても住宅地、商業地ともに平均で上昇に転じるなど、地価の回復傾向が全国的に進んだ」と説明している。

高岡商工会議所では高岡市・関係機関と連携協力し、事務所・工場等の事業用物件を探す方々へ情報提供を実施している。中心市街地の優良物件を紹介する「まちなか空き店舗情報」(下記左図)や空き工場、倉庫、事務所、事業用地などの物件情報を紹介する「空き工場等有効活用事業」(下記右図)があり、興味のある方はご利用いただきたい。



まちなか空き店舗情報(左)  
空き工場等有効活用事(右)  
※詳細はQRよりご確認ください

# 高岡商工会議所地域経済動向調査

(令和5年度 第2四半期・令和5年7月～令和5年9月)

調査月 令和5年7月～令和5年9月 (基準日9月1日)

対象 高岡市内事業所 330社

回答数 146社 (回収率 44.2%)

回答業種内訳及び構成比

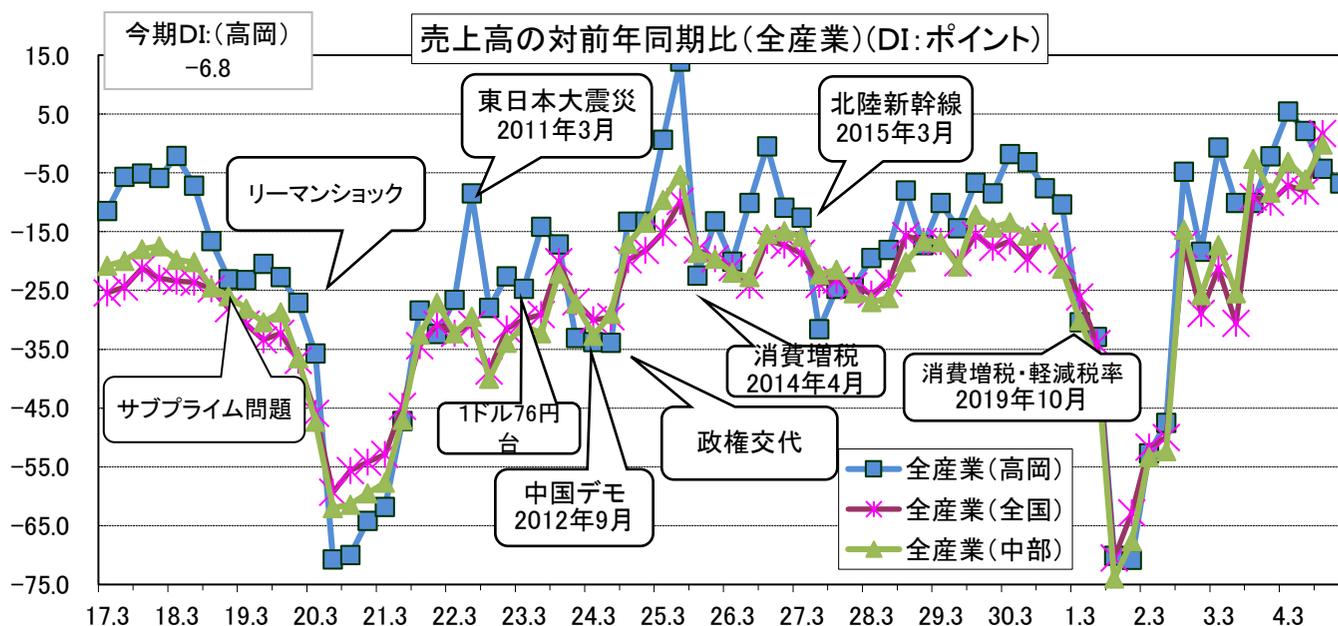
	建設	製造	卸売	小売	サービス	全体
回答数	13社	69社	26社	16社	22社	146社
%	8.9%	47.3%	17.8%	11.0%	15.1%	100.0%

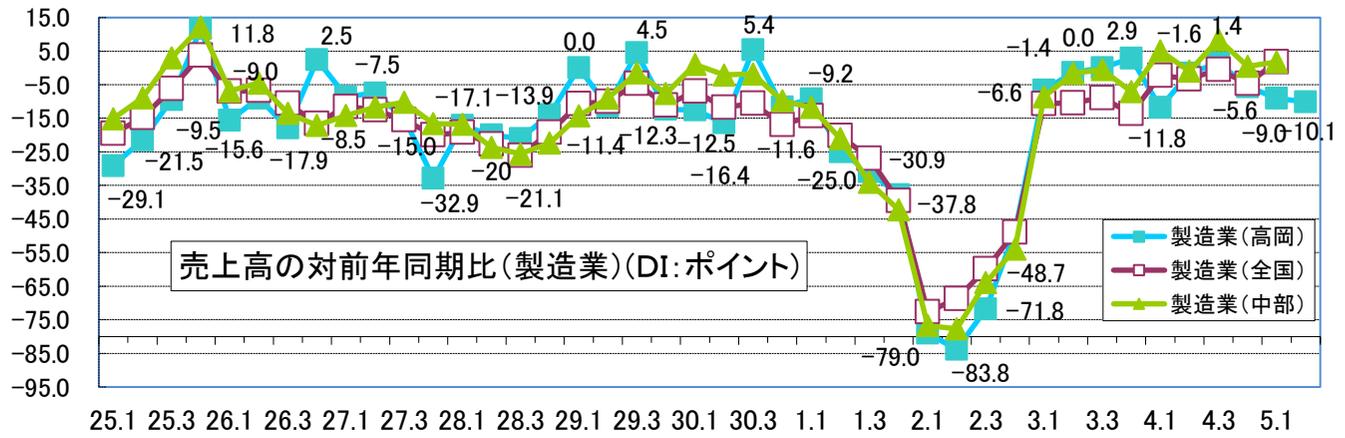
## ■ 1. 売上高の対前年同期比

(%) (ポイント)

※全国、中部DIは前回調査分

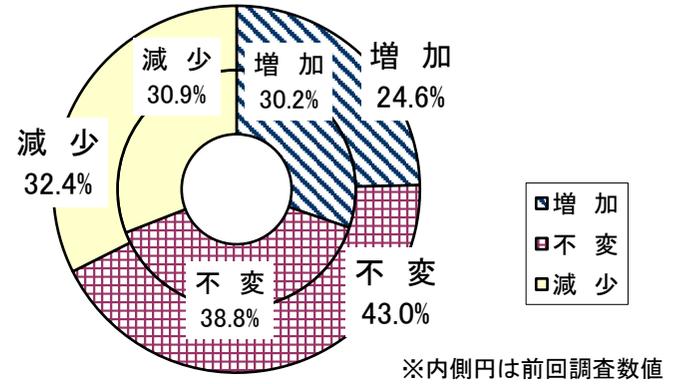
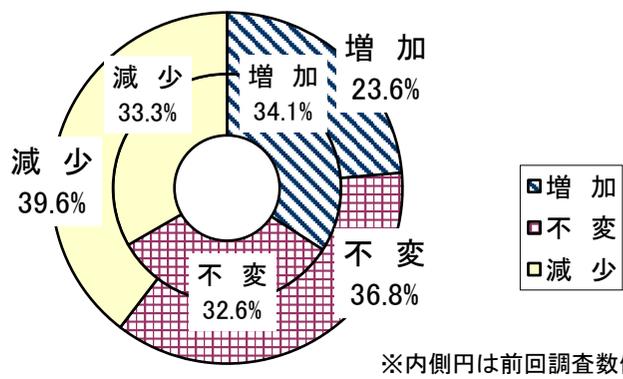
業種	対前年同期比 (%)			DI	前回DI	変化	全国DI
	増加	不変	減少				
建設業	15.4	46.2	38.5	-23.1	-15.4	-7.7	-12.2
	総合・土木	14.3	42.9	42.9	-28.6	0.0	-
	建築・職別工事	16.7	50.0	33.3	-16.7	-40.0	23.3
製造業	31.9	26.1	42.0	-10.1	-9.0	-1.1	1.8
	銅器・漆器	23.1	15.4	61.5	-38.5	-8.3	-
	アルミ・機械・化学・電気	30.8	33.3	35.9	-5.1	-13.9	8.8
	食品・繊維・紙・他	46.7	6.7	46.7	0.0	11.8	-
卸売業	19.2	34.6	46.2	-26.9	-12.5	-14.4	6.6
	銅器・漆器	0.0	20.0	80.0	-80.0	-25.0	-
	その他	25.0	35.0	40.0	-15.0	-5.3	-
小売業	43.8	37.5	18.8	25.0	-5.3	30.3	-8.8
	食品・衣料・雑貨	40.0	20.0	40.0	0.0	42.9	-
	電化製品・文化用品・他	45.5	45.5	9.1	36.4	-33.3	69.7
サービス業	36.4	40.9	22.7	13.6	33.3	-19.7	14.0
全産業	30.1	32.9	37.0	-6.8	-4.3	-2.5	1.7





■ 2-1. 売上高の対前期比

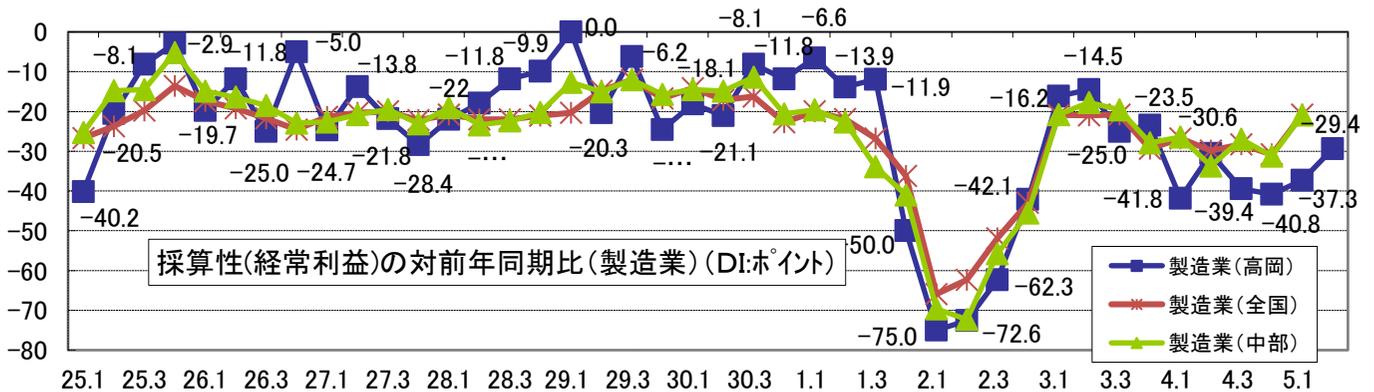
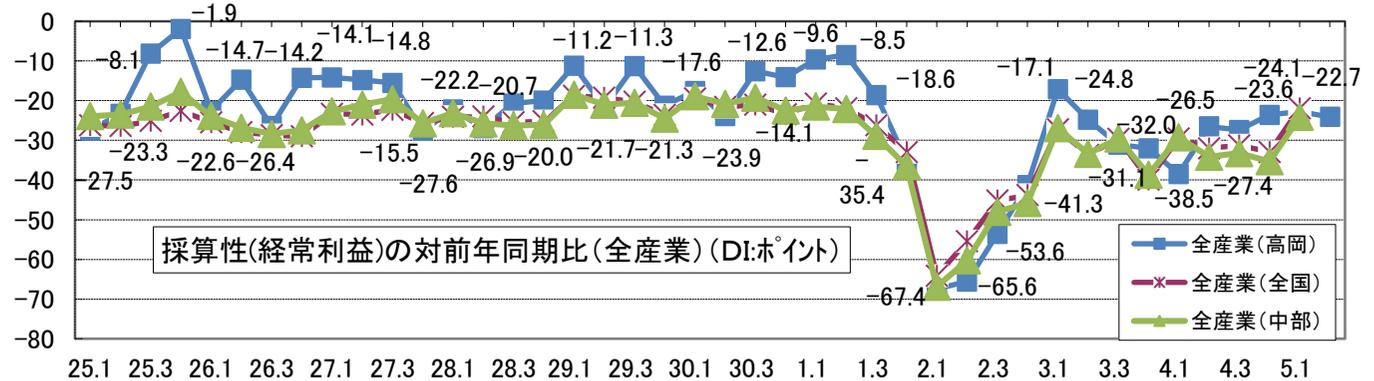
■ 2-2. 売上高の来期見通し(対前年同期比)



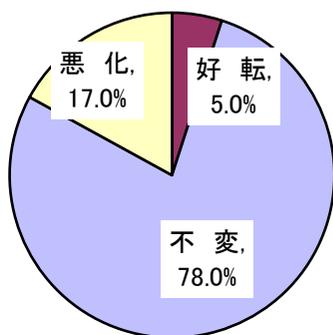
■ 3. 採算性(経常利益)の対前年同期比(%) (ポイント)

※全国DIは前回調査分

		好転	不変	悪化	DI	前回DI	変化	全国DI
業種	建設業	7.7	69.2	23.1	-15.4	-23.1	7.7	-27.9
	製造業	17.6	35.3	47.1	-29.4	-37.3	7.9	-20.8
	卸売業	11.5	38.5	50.0	-38.5	-12.5	-26.0	-12.4
	小売業	6.3	75.0	18.8	-12.5	-15.8	3.3	-28.7
	サービス業	18.2	59.1	22.7	-4.5	11.1	-15.6	-16.9
	全産業	14.5	46.9	38.6	-24.1	-22.7	-1.4	-21.9



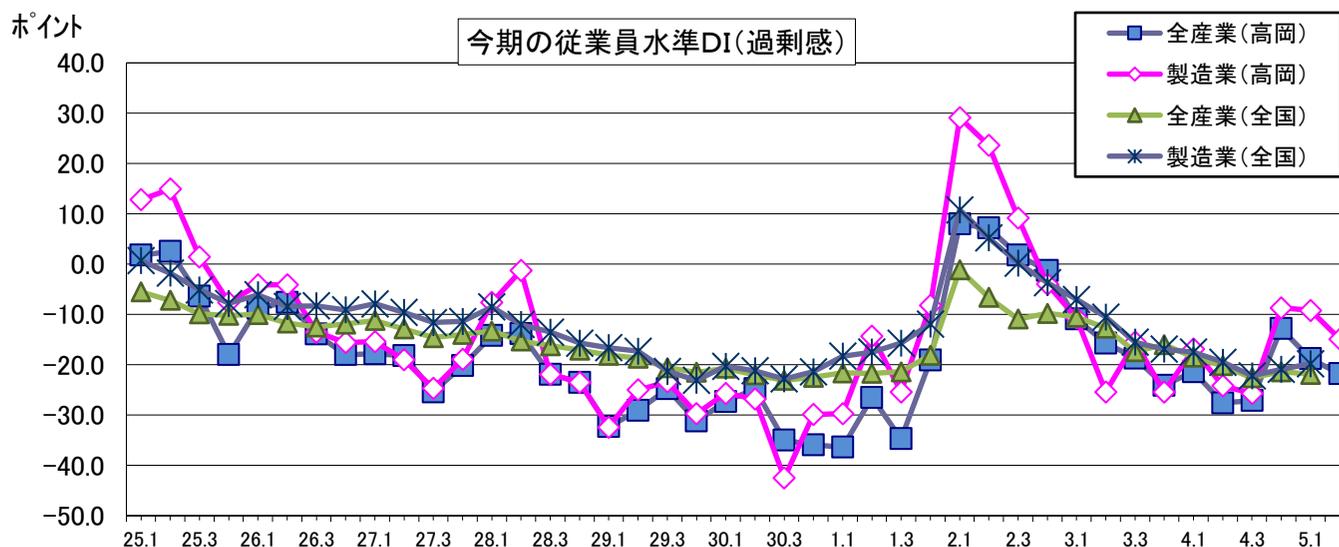
■ 4. 資金繰り(前年同期比)



資金繰り(前年同期比)の推移

	好転	悪化	DI
5.2	5.0%	17.0%	-12.1
5.1	5.8%	13.9%	-8.0
4.4	2.1%	20.4%	-18.3
4.3	4.4%	15.6%	-11.1
4.2	5.4%	16.9%	-11.5
4.1	2.7%	21.2%	-18.5
3.4	6.7%	18.0%	-11.3
3.3	11.3%	19.4%	-8.1
3.2	12.7%	11.5%	1.2

■ 5. 今期の従業員水準(今期の過剰感)



従業員水準(過剰感)の推移

(ポイント)

	R3.3	R3.4	R4.1	R4.2	R4.3	R4.4	R5.1	R5.2
建設業	-52.9	-44.4	-70.6	-62.5	-53.8	-42.9	-46.2	-53.8
製造業	-15.5	-25.4	-16.9	-24.2	-25.7	-8.7	-9.2	-14.9
卸売業	-3.8	0.0	-7.4	0.0	-12.0	8.3	0.0	-11.5
小売業	-13.3	-11.1	-13.3	-26.7	-31.6	-23.1	-33.3	-21.4
サービス業	-23.8	-40.0	-19.0	-40.0	-29.4	-23.8	-44.4	-36.4
全産業	-18.7	-24.1	-21.4	-27.6	-27.1	-12.8	-18.8	-21.8

※数字が小さいほど不足感が強い  
複数回答

■ 6. 直面している経営上の問題(各業種の回答上位)

建設業	①材料価格の上昇	22.9%
	②従業員の確保難	17.1%
	③熟練技術者の確保難	14.3%
製造業	①原材料価格の上昇	20.0%
	②従業員の確保難	15.4%
	③需要の停滞	13.7%
卸売業	①需要の停滞	20.0%
	②仕入単価の上昇	18.5%
	③従業員の確保難	10.8%
小売業	①消費者ニーズの変化への対応	16.3%
	②需要の停滞	14.0%
	③仕入単価の上昇	11.6%
サービス業	①利用者ニーズの変化への対応	17.2%
	①材料等仕入単価の上昇	17.2%
	③従業員の確保難	15.5%

## ■7.調査結果のポイント

- 高岡市の全産業における売上高の対前年同期比は-6.8ポイントと、前回調査より2.5ポイント低下。
- 高岡市における採算性の対前年同期比は、全産業で1.4ポイント下降した。特に、製造業・建設業・小売業で上昇したが、卸売業・サービス業では悪化。

○売上高の対前年同期比においては、今期もサービス業以外で悪化した。

○従業員水準は前回より低下し、不足感が強まった。